



Point

米の収量・品質を安定させるため、
田植え時期の作業のポイントを確認しましょう!



男鹿地区営農センター 加藤 勇輝

田植え作業

安定した収量を得るためには、植込み株数・本数が重要となります。
栽植密度は70株/坪、植込み本数は5～6本(400本/坪)を目標として、田植え作業を行いましょう。
また、平均気温が14℃以上の晴天が続く日が好ましく、最高気温が15℃以下で強風が吹く日は白枯れ症状が起りやすくなるので、注意しましょう。



除草剤の効果的な使用方法

水田雑草の発生を抑制するためには、除草剤の効果を十分に発揮させることが重要となります。また、雑草は代掻き後から発生し始めるため、散布適期内で散布できるよう、作業計画を立てましょう。

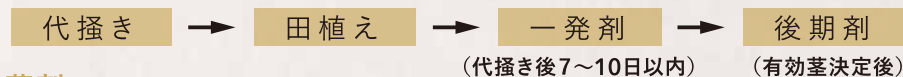
除草剤の効果を発揮させる要点

- ① 高低差を極力なくすように代掻きを行いましょう。
- ② 漏水がないよう畦畔を点検してください。
- ③ 散布の遅れは取りこぼしの元になります。
- ④ 散布後4日間は止水させましょう(水深5～6cm)。

初期剤+一発剤体系処理 ※日数は目安です。



一発剤のみ処理 ※日数は目安です。



● 除草剤

区分	薬剤名	対象雑草・使用時期
本田初期	メテオ (粒剤・フロアブル・ジャンボ)	水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ 移植後～ノビエ1葉期、ただし移植後30日まで
一発処理	アッパレZ (粒剤・フロアブル・ジャンボ)	SU抵抗性雑草、ノビエ、クログワイ等の多年生雑草 移植直後からノビエ3葉期、ただし移植後30日まで / 田植え同時処理可能 (フロアブル、ジャンボは移植後3日～)
	バッチリLX (粒剤・フロアブル・ジャンボ)	SU抵抗性雑草 移植直後からノビエ2.5葉期、ただし移植後30日まで / 田植え同時処理可能
	カウントダウン (粒剤・フロアブル・ジャンボ)	一年生および多年生雑草 移植直後からノビエ3葉期、ただし移植後30日まで / 田植え同時処理可能 (1キロ粒剤は3.5葉期)

茎数確保のための水管理

● 田植え～分けつ期

浅水管理(3～5cm)で水温・地温を高め、分けつを促進させましょう。また、昼夜の温度差が分けつを促進させるため、日中は止水し早朝に補水を行ってください。

● ガス沸き・表層剥離

長期間、水を溜めたままにするとガスや表層剥離が発生し、茎数確保や除草剤の効果が劣ってしまいます。ガス沸きが多い場合は1日程度落水し、ガスを抜き、根を保護しましょう。また、表層剥離が目立つ場合は強制落水をして、水を入れ替えましょう。